

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)中京区町頭町土地利用計画 新築工事	階数	地上5F地下1F
建設地	京都府京都市中京区新町通姉小路下町101-1,101-2,105	構造	S造
用途地域	商業地域, 準防火地域	平均居住人員	80 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2018年8月17日
敷地面積	1,047 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 京都支社 流通一般建築士事務所 藤川 淳子
建築面積	837 m ²	確認日	2018年8月17日
延床面積	4,022 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 京都支社 流通一般建築士事務所 藤川 淳子



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 耐用年数の長い配管材を使用し、広い開口部より豊かな採光や通風を確保し快適に過ごせる室内環境を目指した		その他 特になし
Q1 室内環境 広い開口部より豊かな採光や通風を確保している	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材を使用している	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー LED照明設備の設置	LR2 資源・マテリアル 再利用できるユニット部材を用いている	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=78%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される